

無憂樹

令和6年10月号

浄尊寺
熊本市西区田崎
1-4-39
TEL・FAX
096-354-6530



「まさか・・・」

最近ようやく秋を実感でき

るようになってきましたね。この

まま過しやすい季節が続けば

良いのですが、あつという間に寒

さがやつてきそうです。この秋の

季節を少しでも楽しんできた

いものです。

先日テレビを見ていたら、「光

れ！泥だんご」という番組があ

りました。心理学者として子供

の遊びを研究してきた、加用

文男先生と子供達の世界が紹

介された番組です。

心理学者として子供の遊びを



研究してきた加用先生は、あ

る日表面が鉛色に輝き、ピ

カピカに光る見事な泥だんごを

目にしたそうです。なぜ泥だん

ごが光り輝くのか分析をして

子供でも作れる方法を確立さ

れて、子供達に作り方を教えほ

じめたそうです。何回も土や砂

をかけ磨いて作った泥だんごを

大切にしている子供達のすがた

は本当にキラキラ輝いていまし

た。

その中で忘れられない場面が

あります。ある男の子が大事

に、それこそ宝物のように作っ

ていた泥だんごが割れてしま

ました。その時の男の子の涙

を流している顔が忘れられませ

ん。言葉にするなら「まさ

か・・・」という顔です。

私も僧侶にならせて頂き

同じような場面に出会います。

「まさか・・・あんなに元気だった

のに・・・」とご門徒さんが涙を

流されることがあります。

仏教の開祖お釈迦様は

私達の人生を「生老病死」

「一切皆苦」とお示しになられ

ました。誰もが人間として生ま

れたら、歳をとり、病気になる、

そしていつか必ず死んでいかね

ばならない、これが私達の人生

です。しかしどうでしょうか、

私達の生活はその事実から目

をそむけて生活してはいないで

しょうか。どこまでも他人事で

私や自分の大切な家族や友人

だけは大丈夫、今日明日、死ん

でいくことはないと思いつなが

生活してはおりませんでしょうか。

その事実に出会った時に「ま

さか・・・」と苦しんでいかねばな

らないと、お釈迦さまはお示し

くださいました。

いつか必ず死んでいかねばな

らないという事実はとても悲し

く本当に苦しいことではありま

すが、その私を見抜いて空しく

終わっていく命にはさせないとは

たらいてくださる南無阿弥陀仏

に頭が下がるばかりです。